

# 当院は移転新築を行います



## 未来を切り開くハイブリッドホスピタル



### 病院を“行きたくない場所”から“集う場所”へ

病院には怖い・暗い・行きたくないというイメージがつきやすいですが、新病院では医療・介護・福祉だけではなく『コミュニティ』の融合を目指します。日高振興局のシンボルとして、皆様が気軽に訪れる寄合所のような空間を創出します。

### 見通しが良く明るい“ホテルのような病室”

患者さまが入院中に過ごされる病室は、明るくて落ち着きのあるホテルのような空間を提供します。スペースを広く取り、一人ひとりのプライバシーに配慮したゆとりのある病室です。



最新情報は随時  
伝えていきます！  
お楽しみに！



# Inkar - インカラ - vol.44

## -TOPICS-

新年のご挨拶  
院長の独り言  
移転新築を行います



 医療法人 徳洲会 日高德洲会病院

〒056-0005 北海道日高郡新ひだか町静内こうせい町1丁目10番27号

☎ 0146-42-0701





院長  
井齋 偉矢

2023年の新春のご挨拶を申し上げます。

日本において新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の最初の感染者が確認されたのが2020年1月15日ですから、それ以来3年間はCOVID-19が世の中の最優先課題となる日々が続いて来ました。しかし、第8波になって、感染はしやすいのですが症状は軽症で、当院では漢方治療を第一選択にしていますので、症状も早期に消失するようになってきました。COVID-19流行の当初から当院は病院一丸となって感染対策に取り組み、ほとんど病院機能を制限することなく、地域の皆様のために粉骨砕身の気持ちで邁進して参りました。今後も引き続き皆様の安心のために精一杯頑張ってお参ります。当院は2025年秋の開業を目指して、病院の新築移転を計画しています。場所は石井病院様の西側、中村脳神経内科様の北側に位置し、敷地面積は現病院の約2倍の9,000坪余りで、日高地方のランドマークになる夢のような建物になります。詳しくは「院長の独り言」でご説明します。ご期待ください。



看護部長  
木下 淑子

新年あけましておめでとうございます。

この度、12月より看護部長に就任いたしました木下と申します。当院は、3年後に移転新築という大事業を控えております。今、この時期に、このような大役をお受けしましたことに身の引き締まる思いです。前看護部長が築き上げた看護部を基盤にし、看護部皆が成長し続ける組織を作っていきたいと考えております。そして、地域の皆様に、より一層安心して頂ける看護の質と優しさを兼ね備えた「心に届く看護」が提供できるよう努力して参ります。

世界は未曾有のパンデミックから3年経過しました。冬と同時に訪れた第8波は、微増微減を繰り返し、高止まりの状況です。しかし、社会の動きを止めないという意識の変化で、3年ぶりに行動制限の無い年末年始を過ごされている方も多いのではないのでしょうか。私たち医療従事者も長引く新型コロナウイルスと共存し、アフターコロナ時代を見据えた医療を提供していきたいと思っております。今年も地域に愛される病院であり続ける為に、職員一丸となって精一杯努力して参ります。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



事務長  
永井 司

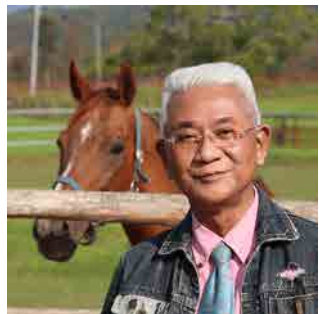
明けましておめでとうございます。

皆さまには健やかに新年をお迎えのこととこころよりお慶び申し上げます。昨年も引き続きコロナ禍が世界全土を覆い尽くし、社会にとって大変な一年となってしまいました。年を越した現在も、その影響が懸念されております。2019年12月初旬からのコロナ感染症流行と同時に、当院では徹底した感染症対策を講じて、安心安全な医療提供に努めて参りました。

また発熱外来を含めた365日24時間オープンで患者様の診察をさせて頂いておりますが、その医療活動の提供も変わらず今年も継続させて頂きます。

当院は2025年秋を目途に病院の移転新築を致します。今年の基本設計と実施設計を本格的に進め、2024年1月から本體工事に入ります。この移転新築は新ひだか町のみならず、日高管内全域の医療をカバー出来る体制を整備したいと考えております。当院は、信頼され満足される医療をご提供し“地域になくてはならない病院”として、皆さまがいつも笑顔で健やかにお過ごしになられますよう、職員一同、一丸となって努力を続けてまいります。また、コロナウイルスに対する配慮が欠かせない日々が続いておりますが、皆さまにおかれましても健康な1年になりますようお祈り申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

## 院長の独り言



## 2025年・秋の移転新築を目指して

2023年明けましておめでとうございます。  
日高徳洲会病院は2025年秋に移転新築を予定しています。まだまだ未確定な部分はありますが、現在のプランですと建物は地上6階建て、延床面積が約6,000坪、外構整備面積が9,000坪余りです。外観は二頭立ての馬車のように、繋がったふたつの建物が並んでいる構造になっています。新病院の模型を病院のロビーに置いて皆様にご覧いただけるよう準備しております。5階は介護老人保健施設（老健）になる予定です。医療だけでなく、介護福祉も担って参ります。将来的には、サービス付き高齢者向け住宅（サ高住）の建設も考えております。1階には地域の方々が自由に出入りできる明るいガラス張りのコミュニティモールを配置し、そこにはコンビニ、カフェ、ラウンジ、よろず相談所などを置く予定です。奥には受付、待合などがあるホスピタルギャラリー（ギャラリーとはガラス張りの高い天井や屋根のある中庭や散歩道を意味します）という空間を配置します。リハビリテーションと透析室は2階になります。



この病院の目玉のひとつが3階の急性期病棟です。ここの病室は全て個室料のかからない個室になります。そして看護師詰所がなくなりますので、詳細はこれから詰めますが、常に担当の看護師は患者さんの部屋の近くにいるようになる構想です。日高徳洲会病院は将来的には日高振興局全域をカバーすることを視野に入れていますので、広域の診療を行うためには、オンライン診療を推進する必要があります。その準備のためにすでに日本アイ・ビー・エム社と提携して、遠隔診療の実証実験を開始しています。また、メタバースという仮想空間に実際の病院と同じバーチャルホスピタルを構築し、メタバースにアクセスすることで、病院の中を探索したり、医療相談などができるようにしたりしたいと思っています。この分野はまだ始まったばかりですので、今後は当院と日高振興局をモデルにして、いろいろな可能性を追究してみたいと思っております。このように、わくわくするような未来の病院が計画されています。完成をどうぞお楽しみに。今後も逐次情報をお伝えして参ります。



新病院と一緒に働きませんか？

### 看護師さん大募集中！

福利厚生 of 充実した楽しい職場です。  
気軽にお電話にてお問い合わせください

